



令和5年第5回9月定例会は、9月4日から9月22日までの19日間の会期で行われ、市長提案議案15件、認定6件を議決しました。

ここでは、主な議案の内容と委員会審査を含めた審議の経過などについて、お知らせします。

学校の施設整備に関する基金の創設、

印鑑登録証明書取得方法の追加など

第64号 学校教育施設整備基金条例

国庫に納付することとされている。ただし、国庫補助事業完了後、10年以上が経過した建物を有償により貸付をする場合、国庫に納付することとなる補助金相当額以上を、学校の施設整備に要する経費に充てることを目的とした基金に積み立て、適正に運用する場合、国庫納付を必要としないとされていることから、補助金相当額以上の額を学校の施設整備に要する経費として積み立てるため、本条例を制定し、基金を創設するもの。なお、基金への積立額は83万7,000円となっている。

15 議案を議決

今後収入となる賃貸借料の全額を基金に積み立てる考えについて問う。

市 今後は、普通財産として維持管理していくことになるが、維持管理のメンテナンス費用等は今後も発生し、一般財源の中で対応することになる。賃貸借料はその財源となることから、基金には全額ではなく一定額を積み立てる予定である。

第65号 印鑑登録証明書のコンビニ交付の利便性が向上

国の電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部が改正されたことに伴い、印鑑登録証明書のコンビニ交付において、マイナンバーカードに加え、Android(アンドロイド)の携帯OSを搭載するスマートフォンでの利用を可能とするもの。

国は令和5年度中に本サービスを開始する予定であり、まだ利用できないことから、施行日は改めて規則で定め、施行することとなる。



議員

セキュリティ上の課題について問う。

市

マイナンバーカードの利活用が進むことにより、手続きのために市役所に来る必要がなくなるなど、住民サービスが向上する反面、紛失や個人情報漏洩の不安を感じる方もいると思われる。

そのため、市としては、紛失した際の対応や、カードの利用方法について知っていたいたため、今後、広報そうまにマイナンバーカードに関する記事を連載していく予定である。

議員

現在運用中の印鑑登録証の今後について問う。

市

市は今後、マイナンバーカードを活用した書かない窓口の導入を検討

人事案件3件を議決

☆相馬市教育委員会委員 菅野 明彦 氏 (再任) 任期 令和5年10月1日より4年間

☆人権擁護委員

伊東 たまよ 氏 (再任) 持立 剛 氏 (再任) 令和6年1月1日からの委嘱に向けて推薦(※委嘱者は法務大臣)